



月刊クラシック通信

2026年1月号

2025年12月25日発行

ナクソス・ジャパン株式会社

No. 079

トップページのバナーからすぐにアクセス！

♪ スタッフのおすすめアルバム ～今すぐなか聴きたい方へ～

シベリウス：交響曲第2番／アンダンテ・フェスティーヴォ（山形交響楽団／村川千秋）



山響創立者・生涯最後の魂のシベリウス

山形交響楽団を創立した名誉指揮者・村川千秋が生涯最後に指揮したシベリウス作品の2024年8月10日ライヴ録音。同日演奏された「アンダンテ・フェスティーヴォ」も収録。心に染みる弦と力強い金管、山形交響楽団と築いた極上のシベリウスがここにあります。音楽人生が凝縮された感動の記録です。

BLUE (TUBASSADORS チューバサダーズ)



チューバってこんなにもカッコいい楽器だった！

4本のチューバによる「ラプソディ・イン・ブルー」や「シング・シング・シング」の迫力あるアレンジに加え、5名の日本人作曲家による委嘱作品を収録。ドラムやピアノとの共演も交え、超絶技巧から甘美なカンタービレまで、主役としてのチューバの可能性を最大限に引き出した意欲作です。

弦楽四重奏で奏でるヒットTVドラマ曲集（カルテットフレスコヴェッセル）



あのTVドラマで流れた名曲を弦楽四重奏で聴く

桐朋学園大学卒業生による弦楽四重奏団「カルテットフレスコヴェッセル」の新録音。大ヒットTVドラマ主題歌を弦楽四重奏で再構築した一枚で、Lemon、いのちの歌、恋など全14曲を収録。懐かしさと温もりに満ちた名曲が、巧みなアレンジで心に響きます。

エグザイル - 室内楽作品集（コパチンスカヤ／カメラータ・ベルン）



第1回新レコード・アカデミー賞 大賞銅賞受賞！

個性的な演奏で注目を集めるヴァイオリニスト・コパチンスカヤと、彼女が音楽監督を務めるカメラータ・ベルンによる「エグザイル（亡命）」は、故郷を追われた人々をテーマに、モルドヴァ伝承曲からシューベルト、シュニトケ、パヌフニク、イザイなどの多彩な作品を、鋭利な解釈と表現で作品への深い共感を刻む一枚です。

トップページのバナーからすぐにアクセス！

♪おすすめプレイリスト／特集～テーマに沿った楽曲セレクション～

2026年ニューイヤーコンサート・プログラム



インストゥルメンタル・ジャパン



新年恒例のウィーン・フィルハーモニー管弦楽団によるニューイヤーコンサート。2026年の演奏曲をまとめたプレイリストです。

2026年は初登場となるカナダ出身のヤニック・ネゼ・セガンがシェフを務めます。アフリカ系アメリカ人の女性作曲家、フローレンス・プライスの作品が取り上げられるなど、これまでとは一味違うプログラムとなっています。

「情熱大陸」からジブリまで、聴く人の心に訴えかけるエモーショナルな日本発のインスト曲をお届けします。

様々な楽器編成による、豊饒な音楽の世界をぜひお楽しみください。

♪【特設ページ】NMLで聴ける「書籍に登場するクラシック音楽」



「ベートーヴェン捏造 名プロデューサーは嘘をつく」（かげはら史帆著／河出文庫）、「涙がでるほど心が震える すばらしいクラシック音楽」（車田和寿著／あさま社）、「蜜蜂と遠雷」（恩田陸／幻冬舎）、「のだめカンタービレ」（二ノ宮知子著／講談社）など、小説、入門書、コミックなどに登場するクラシック音楽をプレイリストにまとめました。本を読みながら聴けば、ストーリーのイメージの幅が広がることでしょう。

「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」のご利用方法につきましては、図書館のご利用窓口でお尋ねください。

「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」最新データ（2025年12月25日時点）

- 配信アルバム数：173,731枚
- 配信トラック数：2,671,012曲
- 参加レベル数：1,045
- 収録作曲家数：51,921人
- 直近一ヶ月の新規参加レベル：「Organum Classics」「SKANI」「gallus sonorus Musikproduktion」